

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	飯田基本問題懇話会運営事業	会計	一般会計	事業No.	71	施策順No.	93-003
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-9-11-3		
政策	9 市民と共に進める行政経営			課等名	企画課		
施策	93 良質な行政サービスの提供			事業期間	開始	2	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市の理事者および部長							A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		市の理事者と部長(単位:人)	21	21	20	20	19		
	意図	社会経済の動向や課題を情報収集して理解し、それが地域社会にどのような影響を及ぼすかを認識して、市政運営に反映できるようにする。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度	
	懇話会出席人数/部長会構成員数(単位:%)	81	80.9	0	90	90	90	A	
	有益な情報交換ができた者の数(人)			14	10	15	10		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	定住自立圏構想に取り組む上の情報交換会を実施した。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 市長の政策決定を行なう場合の判断材料にするため、高度で専門的な情報・知見を獲得していくための事業。</p> <p>(1) 理事者等と国内外の各分野の第1号者との懇談による当該分野の先端的情報等の収集</p> <p>(2) 外部講師による理事者及び部長層の研修</p> <p>※ 市長を含めた部長層の研修の機会として行ってきた経過があるが、部長層が一堂に会する研修機会の確保は困難な場合が多い。そうした中で、市長を中心とした人的ネットワークの構築及び国内外の各分野における第1号者等と当市との関係を構築し、それを契機とした関係各部署との関係構築を図るとともに、当該部局の事業推進にあたり、専門的知見からの助言をいただくなど、集合研修は行えない場合であっても、より深化させるための有効な方法も取り入れ実施している。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	理事者等と国内外の各分野の第1号者との懇談による当該分野の先端的情報等の収集 (1) 当該第1号者と関係部局の関係構築 (2) 事業推進にあたり、専門的知見からの助言をいただく	懇談回数 懇談した者の数	2回 15人
23年度実施計画	理事者等と国内外の各分野の第1号者との懇談による当該分野の先端的情報等の収集 (1) 当該第1号者と関係部局の関係構築 (2) 事業推進にあたり、専門的知見からの助言をいただく	懇談回数 懇談した者の数	1回 10人

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		384	71	300	
		計(A)		384	71	300	
		正規職員所要時間					
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)			0		
		トータルコスト A+B			71		

4 事業に対する市民や議会の意見

この事務事業に対する意見は特段寄せられていないが、H14年度に実施した「市民意識調査」では将来の市政運営に対して様々な意見が寄せられている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市役所の行うサービスが的確に提供される。	施策の成果指標又はムトス指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	懇話会という形での実施から、機を捉えての有識者との情報交換を行う形へ事業の形態が変化してきている。		
	後期に向けた課題	特になし		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	機を捉えた情報交換が出来るように、調整を図ってきた。		
	後期に向けた課題	特になし		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	有識者の元へ出向くばかりではなく、来飯時に情報交換の場を設定するなど工夫をした。		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	有識者との情報交換により、社会経済の動向や課題を情報収集して理解し、市政運営に反映することは必要である。		
	後期に向けた課題	懇話会形式、情報交換会と形式にとらわれない運営が必要。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------